



しょうがっこうていがくねん《1・2年生》のみなさんへ

なつ休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2016年版]

	しよめい さくしやめい しゅっぱんしゃ	ないよう
えほん	<p>「1つぶのおこめ」</p>  <p>デミ 作 さくま ゆみこ 訳 光村教育図書</p>	<p>ラーニはケチな王さまをこらしめるため、ごほうびにお米がほしいといいました。1日目は1つぶ。2日目は2つぶ……。30日目には、何つぶになる？ 算数にまつわるインドのむかし話をえがいた絵本です。</p>
えほん	<p>「のりができるまで」</p>  <p>伏屋 満 監修 北川 暢男 写真 ひさかたチャイルド □</p>	<p>「のり」は、どこでどうやってつくられているの？「のり」のタネをつけたアミをうみに入るところから、パリパリの「のり」ができあがるまでを、ようしよく場のしゃしんで、しょうかいします。</p>
えほん	<p>「くつがいく」</p>  <p>和歌山 静子 作 童心社 □</p>	<p>じぶんのくにや、ぐんたいが、ほかのくにでなにをしたのか…。へいたいのかつをとおして、ほんとうのせんそうをすることや、へいわをまもることのたいせつさをえがいています。</p>
えほん	<p>「きつねのおきやくさま」</p>  <p>あまん きみこ 文 二俣 英五郎 絵 サンリード</p>	<p>はらべこのキツネは、やせたヒヨコに出あいふとらせて食べようとしたが、そのうちヒヨコに「おにいちゃん」とよばれ、おきやくさまとしていえにつれていきました。アヒルやウサギともいっしょにすむようになり、3びきともまるまるとふとってきたころ、山からオオカミがやってきて…。</p>
えほん	<p>「ポレポレやまのぼり」</p>  <p>たしろ ちさと 文・絵 大日本図書 □</p>	<p>あわてんぼうのやぎくん、おちょうしもののはりねずみくん、しっかりもののぞうくんが、山のぼりに出かけました。きょうは山のちょうじょうで、くもの上をながめたりキャンプをしたり、たのしい一日になりそうです。</p>

	しよめい さくしやめい しゅっぱんしゃ	ないよう
としよ	<p>「きつねの窓」^{まど}</p>  <p>安房 直子 作 あおき ひろえ 絵 宮川 健郎 編 岩崎書店</p>	<p>山の中でまいごになっていた「ぼく」は、青いききょうの花ばたけの中で、子どもの白ぎつねが、目のまえをよこぎっていくのを見ました。「ぼく」は、あとをおいかけるのですが…。</p>
としよ	<p>「こぶたのむぎわらぼうし」</p>  <p>森山 京 作 佐野 洋子 絵 小峰書店</p>	<p>子どもたち一人一人に、ぶたのお母さんがむぎわらぼうしをあんでくれました。みんなそれぞれ、ぼうしにすてきなめじるしのかざりをつけますが、一ばん小さいおチビちゃんだけは、すてきなかざりを見つけられません。そこで、外へとさがしに出かけますが…。</p>
としよ	<p>「まほうのじどうはんばいき」</p>  <p>やまだ ともこ 作 いとう みき 絵 金の星社</p>	<p>こうへいはがっこうのかえりみちで、ボタンをおすと、そのときひつようなものが、なんでも出てくる、じどうはんばいきに出あいました。ところがある日、そのべんりなじどうはんばいきが、とつぜんきえてしまったのです！</p>
としよ	<p>「せかいいちゆうかなねこ」</p>  <p>ローラ・ドリスコル 文 鈴木 勝久 絵 村山 寿美子 訳 学研 □</p>	<p>「あっ、あれを見ろ！」火事のげんばで、もえさかる火の中へとびこんでいったネコを見つけ、しょうぼう士さんがさけびました。ニューヨークでじっさいにおきた、ゆうかなおかあさんネコのものがたりです。</p>
としよ	<p>「のっぺらぼうのおじさん」</p>  <p>そうま こうへい 作 タムラ フキコ 絵 講談社 □</p>	<p>よるのこうえんで出あった、にがおえがきのおじさんは、じつはのっぺらぼう。「かおをかいてくれ」といわれたぼくは、ゆうきをだして、おじさんのかおをかいてあげました…。こわくて、こころあたたまるおはなしです。</p>